

## 計画 16 風を感じながら巡るみどりのまち

### < 5 年後の目標 >

練馬区の多彩な魅力を「まち歩き」「ポタリング」(※1)を通して区内外に発信し、「住んでよし」「訪れてよし」のまちのイメージを拡大

### 5 か年の取組

## 1 「まち歩き」「ポタリング」を通して練馬の魅力を体感できる仕組みづくり

### (1) 自然と文化が織りなす魅力のまち練馬

みどり、文化施設、図書館、史跡、農、アニメ、景観、商店街・食といった区内の地域資源を、掘り起し、磨き、組み合わせるなど、新たな切り口で魅力を発信する取組を区民・事業者とともに進めます。

- ① 区内の文化芸術関連施設、大学が連携した企画実施
- ② みどり豊かな公園での芸術イベントの実施（薪能、野外コンサートなど）
- ③ 練馬産野菜を使った商品開発、和菓子店が共同開発した練馬ブランドの和菓子販売、農業やアニメ制作体験等の産業体験

### (2) 徒歩・自転車で魅力スポットを巡る散策コースのプランづくり

多彩な地域資源を発見・体験できる「まち歩き」「ポタリング」コース等を設定します。散策を快適に楽しめるよう、コースマップの作成、案内表示板・路面表示、地域資源の統一看板、途中の休憩ベンチ、施設の駐輪施設の設置など環境を整備します。

- ① 「まち歩き」コース…比較的近いエリアを徒歩で巡る
- ② 「ポタリング」コース…広いエリアを自転車でのんびり散策できる
- ③ 「イベント」コース…地域資源の魅力を発信するイベントに合わせて設定

### (3) 練馬の魅力・観光情報を効果的に発信する広報強化

区や民間が行う練馬の魅力発信について、統一コンセプトのもとにロゴを共通化するなど戦略的に広報を展開し、「住んでよし」「訪れてよし」の練馬のイメージを広げていきます。SNS（ツイッター、フェイスブック等）などを活用し、区民PRサポーターや事業者、区外の練馬ファンからも「お気に入りの魅力」を紹介してもらい、練馬ならではの観光情報として国内外に発信します。

## 2 シェアサイクル導入に向けた取組の実施

ポタリングのツールとなるシェアサイクル(※2)の導入に向け、先行自治体の調査や具体的な活用方法の検討、車体等の広告（スポンサー）獲得の可能性の研究などを行い、練馬区に適した導入方法の検討を行います。そのうえで、社会実験を行い、本格実施に向けた計画を策定します。

### 3 自転車レーンの整備促進等による散策しやすいまちづくり

都市計画道路の整備に際しては、自転車レーンの設置を推進し、街路樹等による緑化や無電柱化を進め、散策しやすい快適な都市環境を実現するまちづくりに取り組みます。  
 (「計画9 鉄道、道路などインフラの整備」再掲)

### 4 身近でスポーツを楽しめる環境の整備

みどり豊かな公園など身近な場所で、スポーツを楽しみ、まち歩きや散策と合わせて気軽に健康づくりができるよう、屋外・屋内のスポーツ施設を充実します。



ねりまのねり歩き

- ① 練馬区は、交通の利便性が高く、都心から近いこととみどり豊かな環境が両立する良好な住宅都市として発展してきました。平成26年度の区民意識意向調査では、区民の「区への定住意向」は7割を超え、「区への愛着度」は8割近くになっています。一方、平成24年度に実施された「住んでみたい街アンケート(首都圏版)」での練馬区の印象は、「住んでみたい街」(143位)より、「実際に住んでよかった街」(10位)でした。
- ② 練馬区は、自然、歴史・文化、商業、農業、街並み・景観など、様々な地域資源が存在するとともに、練馬まつり・照姫まつり・商店街イベント・アニメイベントなど、魅力あふれる催しも行われています。住んでいるとわかるこうした練馬の魅力は、区外には十分知られていない状況です。
- ③ 練馬の魅力を巡る「ねりまのねり歩き」(観光協会主催)や「西武線ウォーク」(西武鉄道主催)などの「まち歩き」のイベントには、多くの参加者があり、区内散策を楽しんでいます。
- ④ 自転車は、ほぼ平坦な地形の練馬区内に散在する地域資源を効率的に巡るうえで、適した交通手段です。区では、区内6駅7施設でレンタサイクル事業を実施し、約2,600人が主に自宅との往復で定期利用していますが、一時的な利用の場合、貸出施設に戻って返却するという手間を伴います。移動先で返却できるシェアサイクルは、短時間・短距離の移動や、来街者にとっての自転車散策に適した公共交通手段です。

※1 ポタリング… 自転車で散策すること。「ぶらぶらする」という意味の英語から来ています。

※2 シェアサイクル… 複数のステーション間で、いつでもどこでも貸出や返却のできる自転車。